


☆公害による健康被害を許すな!  
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



ヤマシャクヤク

# 大阪から公害をなくす会 ニュース

**大阪から公害をなくす会**  
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19  
内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp  
URL http://oskougai.com/  
発行責任者 金谷 邦夫  
年間購読料一部2,000円(送料共)

## 人格権こそ最高のもの・環境保全の私たちの運動理念

### 大阪から公害をなくす会 第35回総会開催

6月12日夜、第35回総会が33団体48名の参加で開催されました。

開会あいさつで、金谷会長は「私たちの運動は、そもそも40年前に西淀川を中心として環境破壊にたいする運動から始まった。現在最大の環境破壊は戦争で、企業の行う最大の環境破壊が3.11で示された原発事故となっている。福井地裁の大飯原発 3・4 号機の再稼働差し止め判決で、人権と企業利益の関係が明確にされたことに確信をもって活動しよう」と訴えました。

泉大津市、岸和田市、八尾市、能勢町の各首長、CASA などからの祝電・メッセージが紹介され、日本共産党大阪府委員会の清水ただし副委員長から連帯のあいさつがありました。

討論では、8名の方から次のような報告が行われました。

- ①アスベスト国賠訴訟のたたかいは、2陣訴訟の大阪高裁では画期的な原告勝訴の判決を勝ち取ったが、国の不当な上告で1陣訴訟・2陣訴訟ともに最高裁に移っている。
- ②大阪市の環境科学研究所（環科研）・水道民営化問題では、環科研の統合と独立行政法人化は大阪市議会では現在継続審議中。水道民営化問題は、水道法で命に直結する重要なことで公営が原則と決めている。全国約 1400 カ所の水道事業で住民向け水道を丸ごと民営化しているところは 1 カ所もない。
- ③寝屋川『廃プラ』のたたかいは丸10年の闘いで、廃プラ処理施設によって周辺住民の健康被害を救済せよとの運動を続けてきている。
- ④大阪の大気汚染問題では、PM2.5は西淀川で2009年から基準値を全て上回っており、原因は中国の影響だけではない。ぜん息患者が特に子どもの中に増えている。
- ⑤淀川左岸線 2 期工事では、大阪市建設局が7年かかって液状化問題をやっと認めた。
- ⑥地震・津波・防災問題は、府下全自治体対象にアンケート活動実施した。津波対策では「逃げろ」の自助だけ。備蓄は 1 食分しかない。医療関係では備蓄がどこもない。ただし、職員体制では半分が強化している。
- ⑦府立公衆衛生研究所（公衛研）と環科研の統合と独立行政法人化問題では、基礎となる検査や調査の積み上げが大切。公的な立場から安全基準を決める役割が求められる。

る。  
⑧原発賠償関西訴訟裁判は、81世帯225名で裁判をしているが、1年以上経過してやっと9月に第一回公判という状況。

総会方針では、国民的課題としての原発・自然エネルギー、気候変動・地球温暖化、地震・津波・防災問題など、また、大阪的な課題としての泉南アスベスト、寝屋川「廃プラ」、大気汚染とぜん息、府立公衛研と大阪市立環科研の統合・独立行政法人化問題、さらには「会」の取り組みとしての環境学校や公害環境デー、NO<sub>2</sub> 測定・ソラダスなどについて情勢を明らかにするとともに、1年間の取り組みを総括し今後の方針を全会一致で決定しました。

役員では、金谷会長、中村事務局長をはじめ、副会長5人、幹事27人、会計監事2人、顧問2人を選出しました。  
(中森芳明)

## 第19回 環境学校

“気候変動・温暖化問題”をテーマにして公開講座です。  
ぜひお誘いあって、気軽にご参加ください。

**講演**

**科学者による地球温暖化の現状把握と  
自然エネルギーによる対策技術**  
河野 仁さん (兵庫県立大学名誉教授)

**IPCC報告とCOP・日本の課題**  
浅岡 美恵さん (気候ネットワーク代表)

日時 **9月21日(日) 午後1～5時**  
(12時開場)

会場 **大阪科学技術センター 401号**  
大阪市西区靱本町1-8-9

資料代 お1人 500円 (学生無料)

大阪から公害をなくす会 電話 (06) 6949-8120